

山・森林の年中行事一覧

◇ 山の神 一月十七日

農村の年中行事のひとつとして、一月十七日に「山の神」を行う習慣があります。山の神とは山を司る神で、しゃもじの形をしるしとしています。十七日は山の神が子供を産む日とされ、奥方のことを山の神と言うのもこの辺りからきた言葉です。

◇ みどりの日 四月二十九日

昭和二十五年四月四日、山梨県甲府市の片山恩賜林に天皇・皇后両陛下をお迎えして第一回植樹祭が行われました。以後両陛下は全国各地の植樹祭に足を運ばれ、海洋生物の研究と共に草木をこよなく慈しまれました。そのような天皇の御意志を継いで四月二十九日は「みどりの日」の祝日となりました。日本の大切な資源として、また美しき日本の象徴として、緑の山が立派に育っていくことを国民、皆で願いたいと思います。

◇ 全国植樹祭 四月～六月

大会の前身は、「愛林日植樹行事」に遡り、一九五〇年（昭和二十五年）、山梨県で「植樹行事並びに国土緑化大会」として第一回が開催され、一九七〇年（昭和四十五年）の第二十一回（福島県）から現在の名称になり、今日に至ります。

国民体育大会・全国豊かな海づくり大会と並び「三大行幸啓」の一つに位置付けられています。およそ一万人前後の規模で毎年開催され、四月～六月には各都道府県でも単独の植樹祭を行っています。

◇ 山の日 八月十一日

自然と親しみ、森林の様々な恩恵に感謝する日です（山と親しむ機会を得ることを目的としています）。

◇ 全国育樹祭 九月～十一月

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的として毎年秋季に行われています。各都道府県において過去の全国植樹祭で天皇・皇后両陛下がお手植えされた樹木に、皇族（皇太子及び皇太子妃）がお手入れ、枝払いなどを実施する祭りです。

◇ 木の日 十月八日

漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」になることから定められました。木の良さを改めて見直してもらう日です。

◇ 間伐推進強化月間 十月～十一月

間伐の普及啓発活動、間伐材の利用推進活動を実施するための啓発運動期間です。